

議 事 録

| | | | |
|---|---------------------------------|-----------|-------------|
| 業務件名 | 須崎市公共下水道施設等運営事業 | | |
| 日 時 | 令和 2 年 12 月 23 日 (水) | 自 13 : 30 | ～ 至 14 : 30 |
| 出席者 | 須崎市建設課 4 名 | | |
| | 須崎市環境保全課 2 名 | | |
| | 須崎市農林水産課 2 名 | | |
| | (株) クリンパートナーズ須崎 (以下 CPS) 5 名 | | |
| 打合せ場所 | 須崎市役所 | 記録作成者 | CPS |
| 資料 | ・ 令和 2 年 11 月度モニタリング定例会資料 (CPS) | | |
| 打合せ事項、対策・合意事項等 | | | |
| 令和 2 年 11 月度モニタリング定例会 | | | |
| 1. 須崎市及び CPS の出席者を確認した。 | | | |
| 2. 今月のセルフモニタリングのチェック項番について | | | |
| ・ 11 月度に確認すべきチェックリスト項番を示した。 | | | |
| 3. 経営に関する業務 | | | |
| ・ 11 月度の財務状況を報告した。 | | | |
| ・ 新型コロナウイルス感染対策について、対策徹底を周知した。 | | | |
| ・ 11/12 終末処理場、11/30 クリーンセンターにて、コンプライアンス勉強会を実施した。 | | | |
| 4. 汚水管渠 | | | |
| ・ 11 月は、最大日降水量 31.5mm であったため、降雨後の巡視は実施していない。 | | | |
| ・ 11 月から管路閉塞リスク対象路線の巡視点検を行い、緊急を要するものではないが、マンホール内側のブロック損傷を確認したことを報告した。 | | | |
| ・ マンホールブロックのクラック等、軽度な損傷については、無収縮モルタル等での補修方法について検討する。 | | | |
| 5. 雨水管渠 | | | |
| ・ 11 月度は、現地確認を兼ねてマンホール蓋の巡視のみを行い、性能劣化の判定一覧表を示した。 | | | |
| ・ 緊急を要するものではないが、蓋のがたつきや周辺舗装の劣化を確認したことを報告した。 | | | |
| ・ スtockマネジメント業務にて、須崎排水区等の雨水管渠調査を行い、12/11 に現場完了した。 | | | |
| (次項へ続く) | | | |

| 打合せ事項、対策・合意事項等 | |
|----------------|--|
| 6.終末処理場 | <ul style="list-style-type: none"> ・11月は雨量が少なかったためか、流入水量と降水量に相関関係は見られなかった。 ・放流水質は、全項目で目標値を満足している。 ・11/24に土壌脱臭ファンの分解整備を行い、損耗した部品を交換した。 ・DHS散水装置の亚克力板にひび割れが生じているため交換を推奨した。 ・終末処理場水処理施設のサビ落としとサビ止め剤塗布作業を実施した。今後も施設のサビの状況を確認した上で、継続的に行うものとする。 |
| 7.クリーンセンター横浪 | <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルプラザでは、破砕機ラインが使用不可のため、不燃ごみを最終処分場に仮置きしている状況である。 ・火災の再発防止として、不燃ごみから小型家電類の分別を行っており、小型家電類の処理は、環境保全課から別事業者へ委託されている。 ・リサイクルプラザの空気圧縮機及びエアドライヤーは油漏れや動作不良が多発していることから早期の修繕（更新）を推奨した。 ・環境保全課にてリサイクルプラザ火災後の施設環境調査を実施され、調査結果から人体に影響がないことを確認されたものの、防護マスクを配布して頂いていることをご報告頂いた。 ・浸出水処理施設の放流水質は、全項目について基準値を満足している。 ・浸出水処理施設修繕推奨リストに空洗ブロワの分解整備とサクシオンホースの交換を追加した。 ・浸出水処理施設の汚泥引抜を実施した。来年度においても同時期の実施を要望した。 |
| 8.漁業集落排水処理施設 | <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽汚泥引抜について、令和3年1月12日～2月19日の期間内で実施することとし、業務は社外委託にて実施する。 |
| 9.雨水ポンプ場 | <ul style="list-style-type: none"> ・終末処理場内ポンプ場のNo.3, No.4ポンプ原動機の不具合について、現状態を報告し、早期の分解整備等を推奨した。 ・No.3原動機については、不具合の原因と考えられる箇所（過給機）を交換される方針である。 ・No.4原動機については、対応を建設課で協議中である。 |
| 10.その他連絡事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・槽内作業時の安全対策として、硫化水素、酸素濃度チェックを徹底し、事故の未然防止に努めることを報告した。 ・次回定例会は、令和3年1月20日（水）13：30開始を予定する。 |
| | (以上) |